

## カリキュラム

機構施設名： 大分職業能力開発促進センター  
 実施機関名： 株式会社パワートレイン

(A)バックオフィス	IT新技術による業務改善
新技術活用	

コースのねらい	第4次産業革命下における新技術を含めたITを活用し、作業の自動化や共有能力の拡充等により新たな業務の合理化・迅速化が図られていることを理解し、自社業務に適切な新技術を選定する知識を習得する。
---------	---

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
講義内容	1 新技術の概要	(1)生産性向上とDXとは 生産性向上の概念について解説し、その上で「IT技術を活用して新しい価値を創造する」という概念であるデジタル・トランスフォーメーション(DX)について、国内での動向を解説します。日々世界中で新しい技術が開発され、新しいサービスやツールが登場しています。ここではどのような新しい技術が開発・活用されているのか、2024～2026年における生成AIの本格活用や中小企業のDX推進状況を含めて分かりやすく解説します。	0.5	
		(2)自社のIT活用状況【演習あり】 現在の自社で活用しているIT技術を洗い出し、現状を確認します。自社がどの程度ITを活用しているのかを把握し、先端事例とのギャップを見つけます。演習を通じて自社の現在地を明確にします。	1.0	
		(3)クラウド概要 クラウドは現代においてDXを進めるための基盤技術です。クラウドとはなにか、どのような利用方法があるか、利用する上でのセキュリティをどう考えたらよいか解説します。SaaS(ソフトウェア提供型)、PaaS(開発基盤提供型)、IaaS(インフラ提供型)という3つのサービス形態について、誰もが知っているような事例を挙げながら、それぞれの特徴と使い分けを解説します。	0.5	
		(4)生成AI・RPAの概要と使い分け 生成AI(ChatGPT等)の活用事例について、身近なサービスを例に解説します。また、業務の自動化を実現するRPAについても、どのように動作するのか、どのような作業で自動化が可能なのかをデモンストレーションを交えて解説します。生成AIは文章作成や判断支援に適し、RPAは定型的な繰り返し作業の自動化に適することを学び、それぞれの使い分けの考え方を理解します。	0.5	
		(5)生産性向上のための各種ツール概要 生産性を向上させるための各種ITツールについて解説します。RPAと組み合わせて業務の自動化・省力化を図る業務アプリ作成ツール、簡易データベース、ビジネスデータの可視化ツール(BIツール)などをご紹介します。ノーコード・ローコードツールの特徴と活用場面を解説し、ツール選定のポイントを理解します。	0.5	
	2 新技術の導入事例	(1)業務改善の基本 業務改善の基本となるOIP(アウトプット、インプット、プロセス)の考え方と業務改善のステップについて解説します。改善方法の検討フレームワークの一つであるEGRSについても解説します。AI・RPA時代における「人がやるべきこと」と「機械に任せること」の分け方を学びます。	0.5	
		(2)IT技術を利用した業務改善の流れ【演習あり】 企業の大小に関わりなく、IT技術を活用して業務改善を行うことができます。ここでは自社で改善に取り組む際、どのような環境を整えたらいいか、IT技術の導入ステップについて解説します。また、実際に自社でどのような課題があり、どのようなツールを使って改善するのか、について演習を行います。	1.0	
		(3)DXビジョンの創造と実現方法の検討【演習あり】 中小企業における具体的なDX成功事例・失敗事例を紹介します。失敗事例からは、高額投資の失敗、現場不在の意思決定、急激な変革による混乱などの教訓を学びます。その上で、近い将来の自社・自組織がどのような状態で在りたいのかというビジョンを創造し、そのビジョンを実現するための方法(戦略)を考え、戦略の一つとしてどのようなIT技術を用いるのか等についてグループワークで検討します。そして、その戦略をPDCAサイクルに組み込む方法についても同時に検討します。	1.5	
		合計時間	6.0	

カリキュラム作成のポイント
2024～2026年における生成AIやクラウド技術など、世界の最新技術活用のトレンドを事例を交えて分かりやすく解説します。大企業と比べて人や資金等のリソースが少ない中小企業でも、アイデアと段階的なアプローチ次第で大きな成果が得られることを、成功事例・失敗事例の両面から学びます。自社ですぐに取り入れられるDXのアイデアもふんだんに盛り込みます。

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
	Windows11 PowerPoint      Microsoft 365/Teams/PowerAutomate
●使用するテキスト	●その他
自社作成テキスト	

利用事業主に用意を求める機器等	備考
ホワイトボード/ホワイトボードマーカー(黒・赤・青) プロジェクター/スクリーン	